

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 手術用骨鉗子 JMDN コード：32853000

ロープロファイル・ケリソン

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 構造及び原理

ハンドルを操作して刃の付いた先端部を開閉させ、軟骨等の組織を締め付けることにより切除することができる。

3. 原材料

ステンレス鋼

4. 寸法等

外装に記載

【使用目的又は効果】

軟骨等の組織の切除。

【使用方法等】

1. 使用前に洗浄及び滅菌を行う。
2. 本品のハンドル部を操作し、刃の付いた先端で軟骨等を締め付けて切除する。
3. 使用後は速やかに洗浄及び滅菌を行い、適切に保管する。

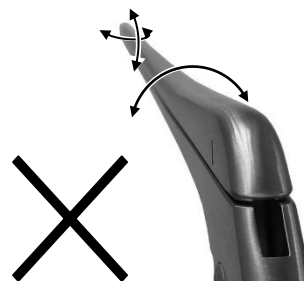
*【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄及び滅菌を行ってから使用すること。（【保守・点検に係る事項】の項を参照）
2. 硬い骨や厚い骨に使用した場合、破損又は変形する恐れがある。
3. 刃の面積全体では無く、全体の 1/3 程度（下図参照）を用いて切除すること。また、一度に多くを噛まないこと。[破損、変形防止のため]



4. 対象物を把持した状態で上下左右に動かしたり、ねじったりしないこと。[破損、変形防止のため]



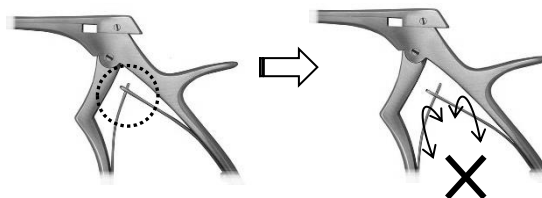
5. 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。
6. 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

先端を保護し、保管ケース等を用いて保管すること。

*【保守・点検に係る事項】

1. 使用前・使用後の点検
外観、機構等に異常がないことを確認すること。
2. 故障時のお願い
異常のあるもの及びその疑いのあるものは使用を中止し、本文書に記載の問い合わせ先に連絡するか、新しい物と取り替えること。
3. 洗浄方法
 - ①使用後は速やかに中性洗浄剤で洗浄し、付着物を取除くこと。
 - ②苛性ソーダ、ホルマリン、グルタルアルデヒド及びブリーチを含む洗浄剤や、その他のアルカリ性又は酸性の洗浄剤は腐食の原因となるため、使用しないこと。
 - ③洗浄等の際は板バネの交差部を外さない、また、捻らないこと。
[板バネ折損防止]



- ④脱イオン水又は脱塩素水等で十分にすすぎ、乾燥させること。
- ⑤金属たわし及び磨き粉（クレンザー等）の類は使用しないこと。

4. 滅菌方法

①汚れ又は洗浄剤が残った状態で滅菌を行わないこと。

②本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄し、各医療機関により
確認された滅菌条件にて滅菌を行うこと。

標準的滅菌条件の例

(「第十六改正 日本薬局方 微生物殺滅法

2. 滅菌法 2.1 加熱法 (i) 高圧蒸気法」より)

滅菌方法	滅菌条件
高圧蒸気滅菌	温度：121～124℃ 時間：15 分間
	又は 温度：126～129℃ 時間：10 分間

*【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

欧和通商株式会社 03 (5803) 7172

<製造業者(医療機器一般)>

有限会社興之宮医科工業

<問い合わせ先>

欧和通商株式会社 札幌営業所：TEL 011 (708) 7725

東京営業所：TEL 03 (3813) 8201

大阪営業所：TEL 06 (6304) 9305

福岡営業所：TEL 092 (526) 3618

住所等につきましては下記ホームページにてご確認願います。

ホームページアドレス <http://www.ohwa-tsusho.com>